

教誨師連盟だより

No. 56

発行所
(公財)全国教誨師連盟

〒165-0026
東京都中野区新井3-37-2
電話 03-3389-7411
FAX 03-3387-3460
E-mail: zenren@soleil.ocn.ne.jp

第三七回全国教誨師大会に寄せて

公益財団法人全国教誨師連盟 理事長 舎奈田 経 夫

平素、全国教誨師連盟に対し御支援・御協力いただいております各教宗団・教誨師各位、更に賛助を賜っております皆様方に厚く御礼申し上げます。

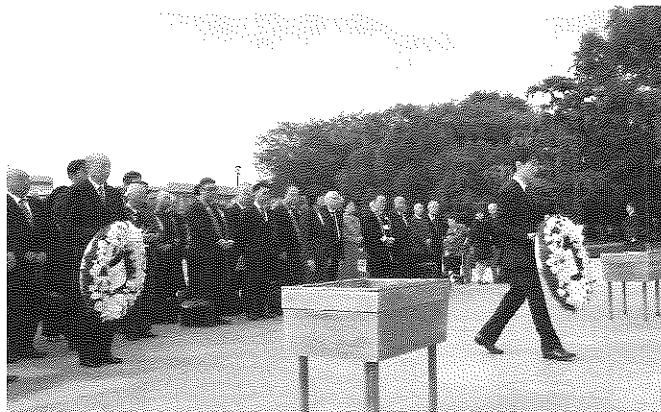
さて、本年度最大の行事であります第三七回全国教誨師大会が一〇月三十一日・十一月一日、広島市内AN Aクラウンプラザホテル広島で開催されました。研修会に先だちまして、広島平和公園にて大谷総裁、前総裁並びに名執雅子矯正局長による献花の儀が行われました。参加された会員の皆様には早朝よりの参加ありがとうございました。また、大会式典において法務大

臣表彰、日本教連盟理事長表彰、全国教誨師連盟総裁表彰、広島矯正管区長表彰の各授賞式が行われました。各受賞者の皆様には心からお慶び申し上げます。

浄土真宗本願寺派 大谷光淳ご門主が当連盟の第三代総裁に就任して初めての全国大会であり、大谷光真前総裁と並んで御着座されましたことにより、総裁職の引継ぎが滞りなく済まされたことを全教誨師並びに関係者に印象強く伝えられました。

今回の研修はサブテーマ「生きる力を共に育む教誨」と題し、一日目は名執矯正局長と本連盟の外部理事でもあります梶木壽介弁護士による講演、二日目は梶木壽氏・臨床心理士 塩山二郎氏・保護司 西井一宜氏の三名によるシンポジウムで、各々の立場からの教誨及び教誨師への提言を発表していただきました。講師の皆様は、私達教誨師に対し非常に深い理解を示してくださいました。大変充実した研修会でした。

この研修会を開催するに当たり、広島県教誨師会の皆様、また、各施設職員の皆様には本来業務に加えて、開催準備等に御苦労をかけた事、大変ありがとうございました。教誨師の皆様には、この心あたたまる研修大会を準備していただきました方々に対する感謝の気持ちを忘れずに今後の教誨活動に励んでいただきます様お願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



連 盟 本 部

連絡先 全国教誨師連盟
 ☎ 〇三―三三三八九―七四一―

◎「教誨受講啓発用DVD」の作成について

被收容者の人数が増えた時に教誨実施回数が増えていかなかったことから、被收容者に直接訴える方法としてリーフレット「心のやすらぎをもとめて：」を作成し、全国の矯正施設の居室に入れるように致しました（平成二十三年一月）。しかし教誨実施件数が目立って伸びるということはありませんでした。

現在は收容人員の減少傾向にあり、教誨実施件数を伸ばしてきめの細かな教誨を行うことが肝要と考えます。今回は映像によりインパクトのあるものを作成することを考えています。DVDに焼き付け、全国の矯正施設に配布し、收容開始時の指導に活用してもらえれば、単に言葉や文字による指導以上に強く意識に残り、教誨を受けようかという意識が高まるものと考えます。

なお、この事業は公益事業として行います。

◎「教誨師中央研修会」について

二〇一九（平成三十一）年度の、第五四回教誨師中央研修会は、「教誨師は何をすべきか」というテーマで開催いたします。

研修会場は、例年と同じく法務省地下大会議室となります。開催時期はまだ決まっておりませんが、例年と同じく八月下旬から九月月上旬を予定しています。

研修対象は、教誨師に委嘱されてからおおむね五年未満の方で、今までに教誨師中央研修会に参加したことのない教誨師を対象として三日間の研修会を開催する予定です。研修の対象となっている教誨師の

方は振ってご参加をお願いいたします。また、教誨事業功労者表彰式も併せて行います。

◎「協賛寄附金」について

本年度から本格的に協賛寄附金の勧募活動を開始しています。

昨年と同じく、全ての教誨師に勧募資料を三セットずつ配布しております。また、昨年度にご寄附いただきました方々には、全教連本部から直接に寄附のご依頼をさせていただいております。

なお、会員規程が本年四月からの施行でしたので、昨年度の寄附の際に協賛会員となることにご同意していただいた方には、四月一日付けでの「協賛会員証」と「協賛会員バッジ」

をお送りしています。今年度に入ってから協賛会員となつた方には、領収証と共に会員証とバッジを送っております。

昨年度及び本年度（二一―月未までの分）の管区別協賛寄附の受納状況は下表のとおりです。

管区名	平成30年度		平成29年度	
	件数	寄附金額	件数	寄附金額
札幌	13	290,000	12	210,000
仙台	15	295,000	9	55,000
東京	39	516,000	27	495,000
名古屋	77	1,090,000	103	1,470,000
大阪	14	93,000	16	128,000
広島	12	78,000	15	128,000
高松	11	105,000	2	15,000
福岡	16	180,000	15	265,000
本部	4	140,000	0	0
合計	201	2,787,000	199	2,766,000

◎「税額控除」について

税額控除についてはこれまで何度も掲載していますが、新しく教誨師になった方もおられますので改めて説明します。

全国教誨師連盟は税額控除対象法人として認定されています。

税額控除対象法人は、寄附者の善意に依えるとともに、多くの人々に支持される組織であることを社会に示し、公益性のある組織であることの証明でもあります。

税額控除対象法人への寄附は、一定の制約がありますが、確定申告をすることにより寄附金額から二千円を控除した金額の四〇%の金額が所得税から控除（税金が戻される）されます。つまり、一万円を寄附した場合、三、二〇〇円の税額が戻りますので、実質六、八〇〇円を寄附したことに同じになります。五万円を寄附した場合、実質三〇、八〇〇円の寄附をしたことに同じになります。

このことから、従前一万円の寄附をしてくださった方にとって、一万五千円を寄附しても実質九千八百円の支出となり、二百円も少ない支出となります。

これらのことを念頭に入れて寄附を募っていただきたく存じます。

協賛寄附金は、一割を事務経費として全国教誨師連盟に留保し、二割を勧募活動をした教誨師の所属する管区教誨師連盟の事務経費として、七割を勧募活動をした教誨師の所属する管区教誨師連盟の地方教誨師研

$$(\text{寄附金額} - 2,000\text{円}) \times 40\% = \text{税額控除額}$$

寄附金額	税額控除額	実質寄附金額
10,000円	3,200円	6,800円
15,000円	5,200円	9,800円
20,000円	7,200円	12,800円
30,000円	11,200円	18,800円
40,000円	15,200円	24,800円
50,000円	19,200円	30,800円

修会経費として使用してもらいます。

従前、地方教誨師研修会を担当する県等教誨師会では所属する教誨師から多額の金額を特別に徴収していることですが、協賛寄附金の勧募活動を活発に行うことにより、特別徴収金額の減少あるいは特別徴収が不要となります。多くの協賛寄附者は、次年度、次々年度と継続して寄附をしてくださいますのでこの効果は管区内全体に好影響を与えることとなります。

◎協賛寄附金（敬称略）

多額のご寄附をいただきまして誠にありがとうございました。

●北海道 ▼五万円 酒井和子 ▼二万円 小西征夫 大江紹文

▼一万円 齋藤学 釋英義 福田洋 北秀継 五十嵐諠

▼匿名四名（一五万円）

●青森県 ▼一〇万円 長谷部達徳 ▼匿名一名（五万円）

●岩手県 ▼一万円 泉山法道 ▼五千元 岡田敏子 米澤利次

▼匿名一名（一万円）

●秋田県 ▼一万円 猪股廣典 ▼五千元 中村松夫 ▼匿名一名

（五千元）

●山形県 ▼五万円 井澤隆徳 ▼一万円 岸實瑩 緑陰寺 井澤隆

明 ▼匿名二名（二万五千元）

●茨城県 ▼二万円 樋崎正悟 ▼一万円 田村晃洋 ▼匿名一名

（二万円）

●栃木県 ▼一万円 小林一成 ▼五千元 菅原道信 ▼匿名二名

（二万五千元）

●群馬県 ▼一万円 柳田石材店 ▼匿名二名（二万円）

●埼玉県 ▼一万円 池田常臣 ▼五千元 桑原恒久 ▼匿名一名

（二万円）

●東京都
▽一〇万円 舍奈田経夫
▽五万円 中川文隆
▽三万円

小峰立丸 伊佐榮豊 中村昌之
▽二万円 (株)千葉石材

錦織春海
▽一万円 田中嗣也 津守範学 中尾学

▽五千元 加藤益亨 田嶋信三 (株)飛和興業 宮坂信次

▽匿名一名(五千元)

●神奈川県
▽一万円 根岸千恵子 畑年
▽一千元 長谷川房江

●山梨県
▽五千元 雨宮孝信

●長野県
▽一万円 三澤宥靖

●新潟県
▽匿名三名(一万五千元)

●静岡県
▽一万円 静岡県神社庁浜松支部 (株)中部総業 戸田俊太郎
▽五千元 戸塚昌宏
▽匿名一名(五千元)

●富山県
▽五万円 天理教富山教務支庁 畠山喜一
▽三万円 天理教中越分教会 畠山喜一

●岐阜県
▽匿名一名(一万円)

●愛知県
▽四万円 天理教愛知教務支庁
▽二万円 聖運寺 寶珠院 大智院奉賛会 佐治博英 大須賀久人 外山杲見 舘

眞知子
▽一万円 天理教大名分教会 G-TOOL (株) 吉

田耕一 日本聖公会中部地区 洪澤一郎 榎英心 長松寺

尾前嘉章 山岸由加子 松本謙吾 藤江雅之 伊奈祐諦

愛知県神社庁豊橋支部 天理教幅下大教会 松平工業(株)

鈴木敬一 (有)おぶつだんの三千堂 生田湧希 円頓寺塩

田宝裕 老津神社
▽五千元 小野和子 福井正信 伊奈

恵祐 伊奈悦子 柵木奨造 柵木迪孝 辻千恵子

▽匿名三三名(五七万五千元)

▽五千元 打田義明 新居和良 伊藤知美
▽匿名一名

●三重県
▽五千元 打田義明 新居和良 伊藤知美
▽匿名一名

(五千元)

●滋賀県
▽匿名一名(一万円)

●京都府
▽五千元 浄光寺 森野現弘

●大阪府
▽一万円 安田規浩
▽匿名六名(三万五千元)

●兵庫県
▽一万円 遙船寺
▽匿名三名(一万三千元)

●和歌山県
▽一万円 阪口隆祥

●鳥取県
▽一万円 岸本佳介
▽五千元 大下潔 岡村吉明 永江

則英
▽匿名一名(一万円)

●岡山県
▽五千元 發知隆法
▽匿名一名(三千元)

●広島県
▽一万円 柳父正道
▽五千元 豊田尚臣
▽匿名三名

(二万円)

●徳島県
▽一万五千元 大塚教行

●香川県
▽一万円 三井正樹 浄土宗南海教区

●愛媛県
▽三万円 二神瑞隆
▽匿名一名(一万円)

●高知県
▽一万円 乾仏具店知寄町店 小沢正憲
▽五千元 福江

等
▽匿名一名(五千元)

●福岡県
▽二万円 福岡県神社庁
▽一万円 永江憲昭 安永宏史

(株)池田お仏壇のまごころ
▽匿名三名(三万五千元)

●佐賀県
▽二万円 田中理

●長崎県
▽一万円 藤原久子 (株)もみの木 江島秀俊 もみの木

ホールディングス 江島秀俊 (株)来迎舎

●熊本県
▽匿名一名(五千元)

●宮崎県
▽一万円 安楽寺 多賀学昭
▽匿名一名(二万円)

●全教連本部
▽一〇万円 大谷光淳
▽三万円 須磨寺
▽五千元

宮川勉
▽匿名一名(五千元)

(平成三〇年一月末日までの分です。)

札幌矯正管区教誨師連盟

連絡先 札幌矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇一一七八三―三九三六

一 研修大会

第五四回札幌矯正管区教誨師研修大会(競輪公益事業振興補助事業)

(一) 開催日 平成三〇年六月七日(木)～八日(金)

(二) 場 所 ANAクラウンプラザホテル千歳

(三) 参加者 教誨師・矯正施設関係者等 一一五名

(四) 大会テーマ

主 題 「未来へ」

副 題 「いのち輝く教誨をめざして」

(五) 記念講演

「矯正施設のためのマインドフルネス

～少年院における『古くて最新』のアプローチ～」

臨床心理士 吉村 仁氏

(六) 研究発表

ア 「紙しばいが心を開いてくれた」

札幌刑務所教誨師会 白川 泰幹 師

イ 「教誨師としての歩み」

函館少年刑務所教誨師会 藤井 八郎 師

ウ 「わたしに聞われていること」

千歳 教 誨 師 会 宮本 正顕 師

二 定例理事会

(一) 開催日 平成二九年一月三十一日

場 所 教化センター札幌別院

(二) 開催日 平成三〇年二月二十六日
場 所 教化センター札幌別院
(三) 開催日 平成三〇年六月七日
場 所 ANAクラウンプラザホテル千歳

三 札幌矯正管区教誨師連盟役員

会 長 小澤 眞了 (帯広刑務所・帯広少年院教誨師会)

副会長 柏川 法潤 (旭川刑務所教誨師会)

同 阿部 正信 (千歳教誨師会)

理 事 松本 哲朗 (札幌刑務所教誨師会)

同 山辺 文彰 (釧路刑務所支所教誨師会)

同 梶原 陸尚 (網走刑務所教誨師会)

同 小林 義教 (月形刑務所教誨師会)

同 渡邊 眷龍 (函館少年刑務所教誨師会)

同 細谷 康麻呂 (月形学園教誨師会)

顧 問 中尾 信 (札幌刑務所教誨師会)

監 査 出倉 恵隆 (札幌刑務所教誨師会)

同 玉井 昭道 (千歳教誨師会)

事務局長 天野 広輝 (札幌刑務所教誨師会)

[平成三〇年一〇月末現在]

仙台矯正管区教誨師連盟

連絡先 仙台矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇二二一―二八六一三七―五

一 研修大会

第六〇回仙台矯正管区教誨師研修福島大会（競輪公益事業振興補助事業）

開催日 平成三〇年一〇月一八日（木）

場所 ザ・セレクトン福島

参加者 教誨師・矯正施設関係者等 一二九名

大会テーマ「未来へ」

研究討議

討議題「原点を見つめ、未来を拓く宗教教誨」

発表者 青森県教誨師会所属教誨師 千葉 敦志

宮城県教誨師会所属教誨師 川上 直哉

山形県教誨師会所属教誨師 山邊 孝史

岩手県教誨師会所属教誨師 吉田 大信

基調講演

「福島第一原子力発電所の現状と福島復興本社の取り組み」

東京電力ホールディングス株式会社

福島復興本社 副代表 青柳 英明 氏

二 定例理事会

(一) 開催日 平成三〇年五月二五日

場所 仙台矯正管区会議室

(二) 開催日 平成三〇年一〇月一八日

場所 ザ・セレクトン福島

(三) 開催日 平成三一年三月八日（予定）

場所 仙台矯正管区会議室

三 仙台矯正管区教誨師連盟役員

会長 井澤 隆 徳（山形県教誨師会）

副会長 高山 元 延（青森県教誨師会）

理事 中村 瑞 貴（宮城県教誨師会）

同 菊池 了 邦（秋田県教誨師会）

同 中野 重 孝（福島県教誨師会）

同 島 地 興 霖（岩手県教誨師会）

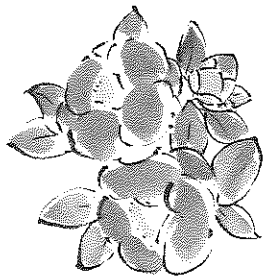
事務局長 徳力 賢 隆（宮城県教誨師会）

監 事 小野 良 孝（宮城県教誨師会）

同 信 楽 度（宮城県教誨師会）

会 計 真 山 隆 道（宮城県教誨師会）

〔任期 平成三一年三月三一日まで〕



東京矯正管区教誨師連盟

連絡先 東京矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇四八―六〇―一―一六〇二

一 研修大会

(一) 第六一回東京矯正管区教誨師研修栃木大会 (競輪公益事業振興)

補助事業)

開催日 平成三〇年六月二一日(木)～二二日(金)

場所 栃木県日光市 きぬ川ホテル三日月

参加者 教誨師・矯正施設関係者等 三一二名

主 題 「未来へ」

副 題 「宗教教誨の使命を見つめて」

朗 読 「ある抗議書」(菊池 寛 著)

朗 読 者 有岡 光枝 氏

講 演 「身と心の問題を見つめて」

講 師 養老 孟司 氏

(二) 第一五回東京矯正管区教誨師連盟課題別研修会

開催日 平成三〇年一月二一〇日(月)

場所 さいたま新都心合同庁舎二号館

参加者 管内少年施設所属教誨師

主 題 「未来へ」

副 題 「少年院における今後の教誨活動のために」

講 演 「再犯防止施策の動向と少年院の取組」

講師・アドバイザー

法務省矯正局少年矯正課企画官 日笠 和彦 氏

班別討議・全体討議

コーディネーター 油谷 弘幸(府中・市原)

アドバイザー 大門 貴彦 氏(多摩少年院)

青木 猛 氏(茨城農芸学院)

二 理事会・運営委員会等

(一) 会計監査 五月二一日(金) さいたま新都心合同庁舎二号館

(二) 定例理事会

第一回 五月二一日(金) さいたま新都心合同庁舎二号館

第二回 六月二二日(木) きぬ川ホテル三日月

第三回 平成三二年二月二二日(金)

(三) 運営委員会

第一回 五月二一日(金) さいたま新都心合同庁舎二号館

第二回 七月二六日(木) さいたま新都心合同庁舎二号館

第三回 一〇月一六日(火) さいたま新都心合同庁舎二号館

(四) 検討理事会

第一回 七月二六日(木) さいたま新都心合同庁舎二号館

第二回 一〇月九日(火) さいたま新都心合同庁舎二号館

三 東京矯正管区教誨師連盟役員

会 長 中川 文隆(府 中)

副会長 飯塚 重(水 戸)・橋爪 良真(前 橋)

同 大 中 明英(黒 羽)・伊佐 榮豊(多 摩)

事務局長 竹岡 郁雄(東日本医)

事務局次長 藏田 秀樹(千 葉)・鬼頭 広安(府 中)

監 事 宮本 賢昭(府 中)・増田 廣神(水 戸)

(平成三〇年一〇月末現在)

名古屋矯正管区教誨師連盟

連絡先 名古屋矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇五二一九七一―五九八四

一 研修大会

第六二回名古屋矯正管区教誨師研修大会・第五回新任教誨師研修会

(競輪公益事業振興補助事業)

(一) 開催日 平成三〇年六月二八日(木)～二九日(金)

(二) 場所 ホテルメルパルク名古屋

(三) 参加者 教誨師・矯正施設関係者等 計一〇三名

(四) 大会テーマ「未来へ」

サブテーマ「受け継ぎ伝える、真心の教誨」

(五) 基調講演

演 題 「再犯防止について」

講 師 名古屋矯正管区長 松田 治氏

(六) 第一部研修会

班別討議

テーマ一 「再犯・再非行防止と教誨活動」

テーマ二 「新任教誨師として感じた教誨の難しさ」

発表者一 高山 芳文(富山刑務所)

発表者二 関戸 友夏子(金沢刑務所)

発表者三 中川 由一(福井刑務所)

発表者四 高田 篤敬(岐阜刑務所)

発表者五 堀田 利行(名古屋刑務所)

発表者六 坂脇 賢正(三重刑務所)

(七) 第二部研修会

演 題 「教誨師として生きる」

講 師 全国教誨師連盟副理事長 竹岡 郁雄氏

二 理事会の状況

定例理事会

平成三〇年六月二七日(水) 名古屋矯正管区会議室

三 名古屋矯正管区教誨師連盟役員

会 長 楠原 純孝(名古屋刑務所)

副会長 岩水 龍峰(岐阜刑務所)

同 加藤 通幸(名古屋拘留所)

事務局長 榎 研治(名古屋刑務所)

理 事 稲生 隆信(富山刑務所)

同 松本 昌丈(金沢刑務所)

同 森 惠司(福井刑務所)

同 箕浦 良信(笠松刑務所)

同 星川 佳信(三重刑務所)

会 計 大野 浩宗(名古屋刑務所)

監 事 日谷 照應(金沢刑務所)

同 加藤 幹夫(三重刑務所)

参 与 石川 宣(愛知少年院)

同 林 精應(福井刑務所)

〔平成三〇年一月一日現在〕

大阪矯正管区教誨師連盟

連絡先 大阪矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇六一六九四一一五七七

一 第六六回大阪矯正管区教誨師研修会について

- (一) 開催日 平成三〇年一月一九日(月)
- (二) 場所 難波別院(南御堂)(大阪府大阪市)
- (三) 参加者 教誨師・矯正施設関係者等 一八八名
- (四) テーマ
メインテーマ 「未来へ」
サブテーマ 「出遇い」によって輝くいのち

(五) 内容

- ア 式典
- イ 体験発表
発表者 滋賀刑務所所属 安部 隆瑞 教誨師
姫路少年刑務所所属 長岡 晃澄 教誨師
- ウ 講演 演 「非行少年や犯罪者の生き辛さと
彼らへの関わり方」
講師 竹下 三隆 氏(元奈良少年刑務所教育専門官)

二 今年度の会議について

- (一) 理事会
第一回(定例) 平成三〇年 六月 七日(木) 管区会議室
第一回(臨時) 平成三〇年一〇月一〇日(水) 管区会議室
第二回(定例) 平成三〇年一月一九日(月) 難波別院

(二) 委員会等

- 第一回テーマ委員会 平成三〇年九月三日(月) 管区会議室
- 第二回テーマ委員会 平成三〇年一月三日(月) 管区会議室

三 今後の予定について

- 初任研修会 平成三一年二月二〇日(水)
- 第三回定例理事会 平成三一年二月二七日(水)
- 意見交換会 平成三一年二月二七日(水)
- ボランティア委員会 平成三一年三月四日(月)

四 大阪矯正管区教誨師連盟役員について

- 会長 松浦 寛法(大阪刑)
- 副会長 明石 和成(播磨センター) 高木 欽恒(和歌山刑)
- 事務局長 岩崎 慶昭(奈良少)
- 理事 大久保 洋(滋賀刑) 漢見 覚恵(滋賀刑)
- 同 速水 馨(京都刑) 井上 廣(京都医療)
- 同 北畠 顯諒(和泉学) 新居 大典(神戸刑)
- 同 宮谷 泉(奈良少) 山下 芳巖(和歌山刑)
- 監事 高木日出喜(京都刑) 前阪 良憲(滋賀刑)
- 主事 総務 松林 俊明(奈良少)
- 同 広報 墨林 浩(大阪医療)
- 同 会計 木本 和行(浪速少)

【任期 平成三一年三月三一日まで】

広島矯正管区教誨師連盟

連絡先 広島矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇八二一―二三一八二五二

一 第三七回全国教誨師大会・第四三回広島矯正管区教誨師研修大会

併催（競輪公益事業振興補助事業）

(一) 開催日 平成三〇年一〇月三十一日（水）～十一月一日（木）

(二) 場所 ANAクラウンプラザホテル広島

(三) 目的 被收容者の人生の流れを意識した研修とする。多くの被收容者の人生は、矯正施設に入る前、出た後があることを踏まえ、教誨師が被收容者と共にその未来を見据え、「生きる力を共に育む教誨」をなすことを目的とする。

(四) テーマ 主題「未来へ」

副題「生きる力を共に育む教誨」

教誨師・矯正施設関係者等 五三七名

(五) 参加者

(六) 式典

(七) 基調講演

演 題 「矯正の現状」
講 師 法務省矯正局長 名執雅子氏

(八) 記念講演

演 題 「教誨を取り巻く我が国の現状」

講 師 弁護士・元広島高等検察庁検事長

梶木 壽氏

(九) シンポジウム

テーマ 「生きる力を共に育む教誨のため教誨師が知るべき

事」

(一〇) 第四三回広島矯正管区教誨師連盟会務報告

一一 会議の状況について

(一) 定例理事会

開催日 平成三〇年二月一日（木）

場 所 広島矯正管区

(二) 定例理事会

開催日 平成三〇年六月二十六日（火）

場 所 広島矯正管区

三 広島矯正管区教誨師連盟役員

会 長 高橋 哲（広島県教誨師会）

副会長 佐藤 元宣（広島県教誨師会）

事務局長 小林 克哉（広島県教誨師会）

理 事 三谷 正美（鳥取県教誨師会）

同 山上 光俊（鳥根県教誨師会）

同 桑原 祥瑞（鳥根県教誨師会）

同 奥村 宏道（岡山県教誨師会）

同 三宅 喜憲（岡山県教誨師会）

同 森脇 宗彦（広島県教誨師会）

同 吉木 祥徳（山口県教誨師会）

同 岸 康之（山口県教誨師会）

同 長岡 裕之（山口県教誨師会）

同 鳥井 健順（山口県教誨師会）

主 事 日下 正実（広島県教誨師会）

監 事 村上 明道（岡山県教誨師会）

同 熊谷 常照（広島県教誨師会）

顧問 山根 眞三（広島県教誨師会）

高松矯正管区教誨師連盟

連絡先 高松矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇八七—八三—一八六一

一 平成三〇年度高松矯正管区教誨師研修会について（競輪公益事業
振興補助事業）

(一) 開催日 平成三〇年六月二十九日（金）

(二) 場所 高松国際ホテル（香川県高松市）

(三) 目的 矯正施設における宗教教誨の充実を図るために、
比較的経験年数の少ない教誨師を対象として研修
を行う。

(四) 参加者 教誨師・矯正施設関係者等 六〇名

(五) 主題 「未来へ」

(六) 副題 「心を育む教誨をめざして」

(七) 日程

ア 式典

イ 基調講演

演 題 「再犯防止のために、私たちは何を学ぶのか？」

講 師 千葉大学社会精神保健教育研究センター

東 本 愛 香 氏

ウ 研究発表

テ ー マ 「今を生きる」

発 表 者 徳島刑務所教誨師 長 崎 一 隆

テ ー マ 「自己の信仰に基づきながら普遍的な教誨を行う
難しさ」

発 表 者 松山刑務所教誨師 堀 川 賢 二

テ ー マ 「寄り添う心で」

発 表 者 四国少年院教誨師 立 岡 光 顕

二 会議の状況について

(一) 各県教誨師会会長会

平成三〇年三月二十八日（水） 高松矯正管区大会議室

(二) 定例理事会

平成三〇年六月二十九日（金） 高松国際ホテル（香川県高松市）

三 高松矯正管区教誨師連盟役員

会 長 田 村 正 教（高松刑務所教誨師）

副 会 長 西 村 宗 純（徳島県教誨師会長）

理 事 北 嶋 眞 二 郎（香川県教誨師会長）

同 松 本 信 見（愛媛県教誨師会長）

同 藤 山 憲 二（高知県教誨師会長）

同 清 原 修（徳島刑務所教誨師会長）

同 筑 後 誠 隆（高松刑務所教誨師会長）

同 村 上 義 英（松山刑務所教誨師会長）

同 渡 邊 泰 秀（高知県教誨師会副会長）

同 石 倉 敬 之（丸亀少女の家教誨師会長）

同 加 藤 親 平（四国少年院教誨師会長）

同 二 神 瑞 隆（松山学園教誨師会長）

監 事 越 智 憲 明（松山刑務所教誨師）

同 道 願 正 美（高知刑務所教誨師）

事務局 長 上 野 忠 昭（高松刑務所教誨師）

事務局 員 堀 江 孝 一（高松刑務所教誨師）

〔平成三〇年一〇月一日現在〕

福岡矯正管区教誨師連盟

連絡先 福岡矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇九二一七七一―九〇八一

一 研修会の状況について

今年度の研修会は、「施設研修会」を開催。

◎「第二一回福岡矯正管区教誨師施設研修会」（競輪公益事業振興補助事業）

①開催日 平成三〇年十一月二三日（火）～二四日（水）

②会場 熊本刑務所・ホテル日航熊本

③参加者 教誨師・矯正施設関係者等 九九名

④大会テーマ「未来へ」

⑤サブテーマ「繰り返さないために～共に歩む教誨～」

⑥内容

一日目

式典

熊本刑務所内施設見学

講演 「宗教教誨と受刑者の社会復帰の可能性」

講師 我藤 諭氏

（龍谷大学非常勤講師・甲南大学講師）

二日目

施設説明・教誨師発表

二 福岡矯正管区教誨師連盟会議の状況について

◎定例理事会（各教誨師会会長・福岡矯正管区）

①日 時 平成三〇年五月八日（火）一四時

②会場 本願寺福岡教堂（管区連盟事務局）

三 福岡矯正管区教誨師連盟役員

◎代議員会（各施設会員代表による総会に代わる議決機関）

①日 時 平成三〇年十一月一三日（火）一七時一五分

②会場 ホテル日航熊本

会長 野村 宗雄（福岡教誨師会会長）

副会長 黒田 正宣（鹿児島県教誨師会会長）

理事 渡辺 和弘（北九州地区教誨師会会長）

同 田中英康（佐賀県教誨師会会長）

同 吉谷 大憲（長崎地区教誨師会会長）

同 堤 暢之（佐世保教誨師会会長）

同 薬師寺 哲雄（大分県教誨師会会長）

同 山本 多美男（熊本県教誨師会会長）

同 佐々木 鴻文（宮崎県教誨師会会長）

同 田中 義弥（沖縄県教誨師会会長）

監事 後藤 法龍（熊本県教誨師会）

同 黒田 幸裕（北九州地区教誨師会）

代議員 各施設の代表者一八名

事務局長 川崎 文丸（福岡教誨師会事務局長）

事務局員 大島 光一（福岡教誨師会事務局員）

〔平成三〇年一〇月三十一日現在〕

浄土真宗本願寺派

連絡先 浄土真宗本願寺派社会部
（社会事業担当）
☎ 〇七五―三七―一五―八一

○近況報告

浄土真宗本願寺派では、当派に属する教誨師・篤志面接委員等を会員として「浄土真宗本願寺派矯正教化連盟」（以下、「本派矯正教化連盟」という。）を組織しております。

本派矯正教化連盟では、平成三五年が本派教誨一五〇周年目となることから、「本派教誨一五〇周年に向けて、さらなる展望のもとに」を事業計画の目標として、平成二四年度から平成三五年度（四期一二年）までの中・長期計画を策定いたしました。本年度は、第三次中期計画となり、総合テーマを「報恩のよろこび、ともに生きる」として、研修会テーマを「ともに生きる道（出遇いのよろこび）」とし、会員一人ひとりの研鑽を深める学びの場を積極的に提供するため、実務研修会を明年三月に開催予定としております。

本年一〇月三十一日・十一月一日に第三七回全国教誨師大会が広島県にて開催され、ご門主様（全国教誨師連盟総裁）、前門様（全国教誨師連盟前総裁）にご臨席いただき、また大会中の本願寺派教誨師の集いには、両門様ご臨席のもと、約一一〇名の教誨師（大会参加者）が集い、活発な意見交換を行いました。

（今年度の主な事業）

○機関誌の発刊

本年度は機関誌『教誨通信』第五三号（教誨・面接こぼれ話Ⅴ、実務研修会開催記録）を発刊予定。

○矯正展（キャツピック展）の開催

平成一五年度から取り組んでおります本願寺境内における「矯正展」を毎年一月九日から一六日まで、宗祖親鸞聖人のご命日にあたって、その御恩徳を報謝する「御正忌報恩講法要」期間中に開催いたします。

○支部において

当派の定めております教区に「本派矯正教化連盟」の支部を設置しておりますが、その支部の相互連絡・連携を目的として矯正管区毎に「支部連絡協議会」を設けており、その「支部連絡協議会」主催のもと、管区毎に会員を集めて、研修会や協議会を実施しております。

○龍谷大学矯正・保護総合センターとの連携推進

龍谷大学矯正・保護課程総合センターが所管する「矯正・保護課程」が昨年四〇周年を迎え、今後も該センターとの連携を密にし、矯正活動や更生保護活動に推進していきます。

○社会活動に寄与する宗門人との連携

平成二七年度より、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献することを基本理念とする宗門総合振興計画が始まり、このなかで、仏教の精神に基づく社会への貢献として、社会活動に寄与する宗門人のネットワークの構築を図っております。

以上

真宗大谷派

連絡先 真宗大谷派教育部
☎ 〇七五―三七―一九一九三

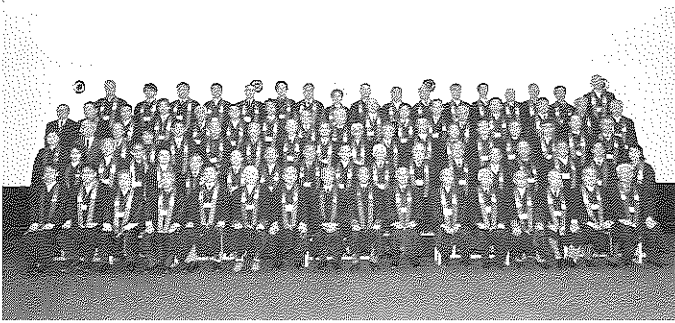
真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会の現況

一 第六〇回「真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会研修会」

真宗大谷派の教誨師・篤志面接委員によって構成される真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会（但馬弘会長）では、毎年研修会を実施している。

昨年一二月に「真宗大谷派教誨師会」から「真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会」に名称変更して初めて呼びかけた研修会として、五月一〇日から一一日にかけて、「真宗の教誨―浄土の視点に立った教誨」のテーマのもと真宗本願寺（東本願寺）内の真宗教化センターを会場に開催し、全国から約八〇人を超える教誨師・篤志面接委員が参加した。

研修会では、真宗教誨に携わる一人ひとりの立脚地を確かめるべく、木越康氏（大谷大学学長）を講師に迎え「親鸞と『涅槃経』」の講題のもと講義が行われた。木越氏は、東日本大震災のボランティアや大谷大学真宗学科に開設されている「現代臨床コース」の取り組みをとおして、教えを立てて、あるいは立脚地を定めて現場に向かっていくのではなく、現場が抱える悲しみや苦しみに寄り添い、



全国から集まった教誨師・篤志面接委員

そこから見えてくる教えの言葉に頷いていく現代臨床の学びの重要性を提起した。現在は学生と共に教誨を含む矯正活動に学んでいくことを課題とされている。また、親鸞聖人は本願を生きる者ではなく、そこから除かれていく人に心を寄せており、その展開が『涅槃経』の引文であり、そこに真宗の特質があると述べられた。

また、日程中には、物故者追弔会並びに全体協議会・座談会が行われ、全体協議会では、各教区及び連区の活動報告の他、次回、石川県金沢市で開催予定の第六一回研修会に概要等についての伝達がなされた。

なお、委員の任期満了に伴う次期委員の選出及び副会長の互選が行われ、下記のとおり選出された。

二 真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会役員（●印は執行委員）

会長 但馬 弘（宗務総長）

副会長 藤井 宣行（教育部担当参務）

● 治田 義行（京 都）

委員 阿部 正信（北海道） 高 海史（東京）

● 中尾 学（東京） ● 坂本 敏朗（金 沢）

牧野 豊丸（福 井） 華埜井 究（岡 崎）

● 玉井 了（名古屋） 富田 直樹（京 都）

● 北畠 顯諒（大 阪） 松林 俊明（大 阪）

● 邨上 了圓（山 陽） 古賀 祐法（久留米）

寺本 是精（鹿児島）

監 事 吉田 環樹（京 都） 墨林 浩（大 阪）

【任期 二〇一八年七月一日～二〇二〇年六月三〇日】

三 会報の発行

真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会では会報「真宗教誨」を年二回発行しています。

天理教教誨師連盟

連絡先 天理教布教部社会福祉課
☎ 〇七四三一六三一五一一

I 最近の動き

平成三〇年三月二十六日、天理教表統領（宗教法人天理教代表役員）が二期目の就任に伴い、天理教教庁各部署において人事の更迭がなされ、当教誨師連盟も、同年六月二十五日付で、井上廣に代わり新たな委員長に河合義雄が、以下副委員長二名、委員一九名が本部布教部長より委嘱され、新委員会が発足した。

現在、天理教教誨師・篤志面接委員としての資質の向上を目指し、「管区別ブロック研修会」の実施、アンケート調査に基づく活動強化、を中心に活動を進めているが、それに加えて、今後の天理教としての教誨活動を見据える時、かねてより当連盟会員から強く要望されている「天理教教誨師マニュアル」の発刊が、何よりも急がれる、との認識の上から、今回、「マニュアル作成プロジェクト」を立ち上げ、その作成に着手することになった。

II 今年の連盟の関係する事業報告

◇おやさと研修会

平成三〇年二月二十五日 参加者五六名

講 義 「就労支援の現状とコレワークの取り組みについて」
講 師 都坂 圭吾 氏
(西日本矯正就労支援情報センター室 コレワーク)

◇教誨師・篤志面接委員ブロック懇談会(天理市で開催)

・二月二十五日 福岡矯正管区 参加者一三名

・四月二十五日 広島矯正管区・高松矯正管区合同 参加者一六名

・五月二十五日 札幌矯正管区 参加者一二名

・六月二十五日 名古屋矯正管区 参加者一四名

◇天理教社会福祉課主催「第一一回社会福祉大会」

平成三〇年四月二十五日

式典、記念講演、分科会(教誨師連盟総会)

記念講演 「私の歩んだ道 〈見えないから見たもの〉」

講 師 竹内 昌彦 氏

(岡山ライトハウス理事長・岡山視覚障害者協会理事)

分科会 教誨師連盟総会 参加者四〇名

平成二九年度事業報告、会計決算報告、

平成三〇年度事業計画、予算案

◇新任教誨師研修会(篤志面接委員含む)

平成三〇年九月二十五日 参加者一七名

講 義 「矯正施設が宗教教誨・篤志面接委員に期待すること」

講 師 連盟 小澤 直樹 常任委員

講 義 「天理教教誨師のつとめ」

講 師 井上 廣 連盟顧問・前委員長

修了証書授与

◇「教誨師連盟だより」第一八号発行(七月二十六日)

◇その他

天理教表統領より新任教誨師に辞令交付(随時)

常任委員会・委員会開催(随時)

曹洞宗教誨師連合会

連絡先 曹洞宗宗務庁教化部布教課
☎ 〇三―三三四五四―五五六〇

◎曹洞宗教誨師連合会について

曹洞宗では、教誨師の委嘱を受けた僧侶を「曹洞宗教誨師」に任命しています。そして、曹洞宗教誨師と篤志面接委員を会員とする外郭団体「曹洞宗教誨師連合会」（以下、当会）を組織し、曹洞宗の社会教化活動の一翼を担っています。

当会は、大阪矯正管区において第一〇回全国教誨師大会開催に伴い、昭和三九年一月六日に大阪市の曹洞宗春陽軒にて結成されました。当時の名簿には九三名が名を連ねており、平成二九年四月一日現在の会員数は一五六名となりました。

当会の活動は教誨事業の向上発展を期し、会員相互の緊密なる連繋と親睦を計ることが目的です。その目的達成のために教誨儀礼の研究、懇談会の開催などの事業を行っており、特に会員の活動に役立つ研修会を毎年開催しています。その際、教誨師委嘱から五年未満の会員には初回に限り研修会の参加費を無償とし、多くの参加を呼びかけております。また、研修会での講演を基にした講義録を作成し会員に配布するなどの事業を継続しています。昭和四九年度には当会結成一〇周年を記念して『曹洞宗教誨師必携』を刊行し、その後の平成一六年度には結成一〇周年を記念して内容を全面改訂し『曹洞宗教誨師マニュアル』と改題して刊行しました。これは、実際の宗教教誨を支援するために作成された書籍で、現在は新任の会員に配布しています。その他、宗教教誨の一助として曹洞宗教誨師や矯正施設へ月刊誌『禅の友』を希望に応じて毎月お届けしています。また、坐蒲（坐禅

指導の時に使用する丸型の座布団）や経本なども希望される矯正施設へ贈呈しています。

◎今年度の研修会について

今年度の研修会は九月二七日から二八日の一泊二日の日程で、東京グランドホテル（曹洞宗檀信徒会館）を会場に三二名の参加者を得て開催しました。当会会長である釜田隆文宗務総長の導師による開会式が行われ、その後「オウム真理教幹部はなぜ殺人に至ったのか―人の意識を左右するものをめぐって―」と題し、宗教情報リサーチセンター長の井上順孝氏より、カルトの教理の内実について、ご講演いただきました。引き続き曹洞宗総合研究センター専任研究員石原成明師より「曹洞宗の禅」と題した講演をいただき、その後、両講演を受けて「今、あらためて我々の坐禅を振り返る」というテーマに沿った班別会が開かれ、活発な意見交換が行われました。休憩を挟んだ後、総会が開かれました。

第二日目は、施設別学習会を「当会に対して今後どのような研修会を求めるのか」とのテーマのもと行いました。各班の代表がその内容を発表し、今年度の研修会は終了しました。

曹洞宗および当会は教誨活動を重要な社会教化の一つとして捉え、被收容者の更生と社会復帰の一助となるよう更なる支援をしていく次第でございます。

神 社 本 庁

連絡先 神社本庁教化広報部教化課
☎ 〇三―三三七九―八〇一―

一、組 織

神社本庁では、独自の教誨師団体は組織してをらず、神社本庁統理の委嘱により各都道府県の神社庁に神社本庁教誨師が駐在（一～三年）し、教誨活動を行つてゐる。神社本庁教誨師が駐在してゐる県の神社庁に対し、年一回の活動報告書の提出を求めてゐる他、教誨師に対し、事務報告書や活動報告書の作成等も依頼してゐる。

教誨師全般についての事務は教化広報部教化課が所管してをり、教誨師の任命、神社庁並びに教誨師からの報告書取り纏め等の事務をはじめ教誨師研究会、教誨師養成研修会等の関係諸会合を開催し、関係団体との折衝にあたつてゐる。また、教誨活動に資するべく教化資料等を作成し、関係機関に寄贈してゐる。

尚、東京都神職教誨師会、北海道地区神社庁駐在教誨師会（札幌矯正管区）、仙台矯正管区内神社本庁教誨師会（仙台矯正管区）、高松矯正管区内四国神社本庁教誨師会（高松矯正管区）がそれぞれ地元教誨師により自主的に組織されてをり、種々の活動を行つてゐる。

二、神社本庁教誨師研究会について

神社本庁では、昭和二五年より毎年、教誨師研究会を開催してゐる。

本年は、八月二七日、二八日の両日、岡山市において、四五名の参加を得て「言葉による神道教誨 改善更生を図る講話方法」をテーマに開催した。

一日目は、同市内のホテルを会場に神道講演全国協議会副会長・

旭川神社宮司 芦原高穂氏より「魂を磨く」と題して、神道講演の講話構成法や心構へなどについて講演戴き、被収容者に対してわかりやすい言葉で、神道教誨を行ふための心と技術を学ぶ機会となつた。引続き、①少年院・少年刑務所、②社会復帰センター・拘置所・施設収容区分W、③施設収容区分A、④施設収容区分Bの所属施設毎に別れて分散会を実施した。

二日目は、岡山縣護國神社にて正式参拝後、同神社「いさお会館」において全体会を実施して前日の分散会での討議内容を発表し、各々の教誨師が抱へる諸問題に対し、各所属施設の情報を共有するとともに、対応に拘はる意見を交換した。

全体会終了後は岡山刑務所を視察した。岡山刑務所の歴史や、被収容者の収容期間が長く、木工作業、金属作業、備前焼の陶芸など、各業種とも技能程度が非常に高いといふ現況の説明を受けた。その後、作業現場を含む所内の各施設を巡回して詳細な案内を受けた。

三、神社本庁教誨師の養成について

神社本庁では、教誨師の更なる充実を目指すとともに、教誨師の後継者養成を目的とすべく、平成一九年より「教誨師補助員」の制度を設けてゐる。教誨師補助員は将来教誨師になることを期待されてゐる人材を各都道府県神社庁長が委嘱するもので、同補助員に対しては施設内での行事の手伝ひや、各種会合への参加も呼びかけてをり、後継者問題解決の一助となつてゐる。

また、神社本庁の教誨師委嘱は三年一期としてをり、三年毎に神社本庁教誨師要請研修会を開催してゐる。対象は教誨師に委嘱されて三年未滿の神職、教誨師補助員や将来教誨師となるのに相応しい神職、その他神社庁長が推薦する神職としてをり、講義内容は宗教教誨の概要・方法・実践の各領域にわたつて教授してゐる。

浄土宗

連絡先 浄土宗教誨師会
☎〇三―三四三六―三三五―

浄土宗教誨師会は全国で一三七名を有し、九〇施設で教誨に取り組んでいます。

組織としては、全国を北海道から九州までを八ブロックに分け、地区研修会を都道府県持ち回りで研修をしています。また本部として六月に八ブロックを回り、「浄土宗教誨師研修会」を一泊二日で、一二月初旬には京都知恩院会場と東京増上寺会場で、隔年京都は教誨師会担当で、東京は保護司会担当で「中央研修会」を毎年開催しております。

○「浄土宗教誨師会」中央研修会

平成三〇年一二月一―二日 浄土宗教化研修会館

- ・明石市理事(更生支援担当) 青山 純氏「明石市の更生支援の取組」
- ・レジリエント・シティ京都市統括官 藤田裕之氏(講題未定)、京都刑務所刑務官にご依頼をしています。

○第二八回「浄土宗教誨師会研修会」

平成三〇年六月五日・六日 仙台市・江陽グランドホテル

- ・浄土宗教誨師会事務局長 堀 芳照 上人「反省させると犯罪者になります」

・NPO法人 World Open Heart 代表 阿部恭子氏「加害者家族の現状と支援」

- ・宮城刑務所法務事務官副看守長 柴田英憲氏・宮城刑務所元刑務官(現宮城刑務所篤志面接委員) 河東田俊一氏「その時、施設では：『東日本大震災対応』」

- ・被災地訪問並びに慰霊

○地区研修会

北海道地区 教誨師会・保護司会・民生委員児童委員協議会三者

合同研修会 平成三〇年一月二十九日・三〇日 ホテルガーデンパレス札幌

- ・湘南中央病院在宅・緩和ケア部門長 奥野慈子氏「安心して生き、死に切るといふこと」

- ・北海道消費者協会非常勤講師 渡邊ゆか氏「成年後見制度とは自分らしく安心して暮らすために」

東北地区 第二八回浄土宗教誨師会研修会に併催

関東地区 平成三〇年五月一―八日 三井ガーデンホテル千葉

- ・市原ぞうの国代表取締役園長 坂本小百合氏「ぞう・人間・生命(いのち)・通い合う心」

- ・千葉刑務所法務事務官主任看守 豊田一成氏「千葉刑務所の教誨について」

- ・市原刑務所上席統括矯正処遇官 荘司未知子氏「市原刑務所について」

東海地区 平成三一年二月一―二日 名古屋市願王寺(詳細未定)

北陸地区 教誨師会・保護司会合同開催 平成三一年三月七日(詳細未定)

近畿地区 平成三〇年七月四日 京都刑務所・京都市生涯学習センターアスニー山科

- ・京都刑務所長「宗教教誨の現状」
- ・京都刑務所教育首席「京都刑務所の現状」

中国地区 浄土宗保護司会全国研修会に併修 平成三〇年六月一―二日

- ・山口保護観察所所長 役重 宏氏「更生保護の現状」
- ・専修寺住職 高橋教信 上人「対象者への対応と活動の課題」

- ・幸盛寺住職 池田正顯 上人「鳥取刑務所について」

分科会、意見交換回、施設訪問「山口刑務所」九州地区 平成三〇年一〇月一―二日 四季彩ホテル「千代田館」

- ・さが法務少年支援センター主任専門官 前里光作氏「少年非行について」

- ・親の会「ほっとケーキ」代表 山口由美子氏「犯罪被害者の心情」

日蓮宗

連絡先 日蓮宗教誨師会事務局
☎〇七〇一五三五五―九八五六

一、概略

日蓮宗では各施設に所属している一二〇余名の日蓮宗教師の教誨師が全国組織である日蓮宗教誨師会を結成し、研修や親睦を行っている。日蓮宗教誨師会は、日蓮宗門内に於いては全国社会教化事業協会連合会の一団体として位置付けられており、総会並びに連絡会議等へ参加することにより連携を図り、日蓮宗の社会活動事業の一端を担っている。

日蓮宗教師となるためには、推薦規程により日蓮宗教師会を通じて日蓮宗宗務総長より推薦書を頂かなければならないようになってい

る。また、全国教誨師連盟と連携を図るべく、宗団代表者との連絡協議会（京都部会・東京部会）にも出来るだけ参加するようにしている。

二、平成三〇年度の活動

1 平成三〇年度第五二回日蓮宗教師会総会千葉大会の開催

期日 平成三〇年七月四日（水）・五日（木）

会場 誕生寺・吉夢（千葉県鴨川市）

参拝 総会后、平成三十三年の日蓮聖人御降誕八〇〇年を前に

誕生寺慶讃参拝

研修 千葉刑務所視察

2 平成三〇年度特別研修の開催

期日 平成三〇年一月二六日（月）

会場 日蓮宗宗務院（東京都池上一―三二―一五）

演題 「再犯防止において私たちは何を学ぶのか？」

再犯防止と認知行動療法

講師 千葉大学社会精神保健教育研究センター

法システム研究部門 特任助教 東本愛香 先生

講演 「教誨におけるマインドフルネス

―その理念と実践について―」

講師 千葉刑務所教誨師（日蓮宗教師） 影山教俊 師

3 日蓮宗教師会理事會・執行部会・事務局會議の開催

4 矯正管区研修助成金の支給

5 教誨活動三〇年以上者への管長表彰状申請・授与

6 日蓮宗全国社会教化事業協会連合会総会・研修会への参加

7 社教関連七団体会長並びに事務担当者連絡會議への参加

8 日蓮宗教師が所属する矯正施設に日蓮宗新聞の配布

9 宗団代表者との連絡會議（京都部会）への参加

平成三〇年七月三日 加藤貫裕副会長

10 宗団代表者との連絡會議（東京部会）への参加

平成三〇年一月一日 日蓮宗宗務院伝道部 根本康秀課長

日蓮宗教師会 新井恵裕事務局長

三、活動費

会員の納める年度会費並びに宗門からの助成金によって賄われている。

四、方針

人心の荒廃・犯罪の凶悪化、多様化、低年齢化と高齢化、国際化、ネット社会に於ける犯罪の巧妙化、裾野のひろがりなど、現代社会は多くの問題を抱えている。より効果のある教誨を目指すため、各各の施設や教宗団と情報交換を図り、親睦を深め、積極的に協力をしていく。

被收容者に寄り添いながら十分な反省を促し、各各の可能性を共に探り、前向きに生きる勇気を求め、与えていく。

より良い社会のための再犯率低下に資することも大切な目的である。

金光教教誨師会

連絡先 金光教教誨師会

☎ 〇八六五―四二―三二―

金光教教誨師会におきましては、昨年は創設四〇周年という節目でありました。そこで、三月八日―九日にかけて金光教本部を会場に四〇周年記念総会並びに研修会を開催し、記念講演を行い、講師として金光教学院長であり、教誨師の先輩であられる、大分県日田教会長堀尾光俊師より「めざめ、きづき、そして改まり」との講題でお話を頂きました。

また記念事業の一環として、「教誨教話集」の第二集の発刊をさせて頂き六七名の教誨師の方々が施設で実施された、教誨時の原稿を掲載させて頂きました。

金光教教誨師会では、現在六六名の教誨師が、五一カ所の矯正施設に出仕させて頂いておられますが、本年も昨年引き続き一四カ所の施設において年頭祈願祭をまた、年末感謝祭並びに年末大祓いを二カ所、慰霊祭を一カ所の合計一七カ所において祭事を仕えさせて頂きます。

また、教誨師としての資質の向上を図るため、本年は五月から七月にかけて、北海道、京都市、岡山県、鹿児島県と、全国四つの会場において、それぞれに施設参観をはじめ、教誨実施に関わったの問題点等の検討協議、出席者による「ある日の教誨」などを実施し、教誨師一人ひとりの教誨姿勢並びに教誨内容の充実を図って参りたいと思っております。

また、一方に金光教の教師育成機関である金光教学院においても、金光教教師として育っていかれる方々に対し、教誨活動への理解と、

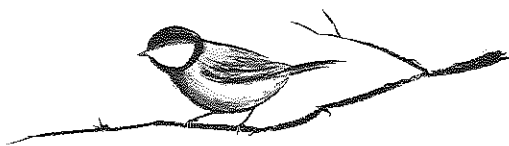
新たな教誨師の育成を願って、一二月を予定としてセミナーを開催いたします。

広報活動といたしましては、六月と一二月に「教誨便り」を二、八〇〇部発刊し、教誨師を始め全教に配布いたしております。

また、創設三〇年から昨年迎えさせて頂いた創設四〇年までの、年史を、今年の発行を目指して取り組んでおります。

金光教教誨師会では、教祖のみ教えにある「人の身が大事か、わが身が大事か、人もわが身もみな人である」、「天が下に他人というは無きものぞ」とのみ教えを大切に、本年も教誨活動のご用を進めてまいります。

金光教教誨師会長 畔柳 俊雄



天台宗

連絡先 天台宗教誨師会
☎ 〇七七一五七九一〇〇二二

○天台宗教誨師会の現況

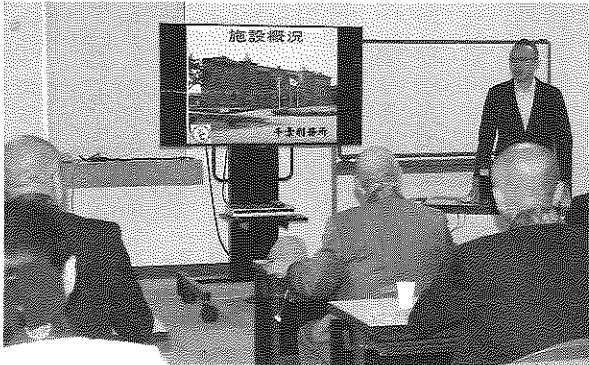
天台宗教誨師会は、矯正施設の教誨師並びに篤志面接委員である天台宗の教師を以て組織しております。会の発足は昭和四四(一九六九)年五月一〇日、現在三八名の会員が所属しております。

会の目的は、天台宗の教義に基づき、矯正施設における教誨の充実と会員相互の研修・親睦を図り、教誨師並びに篤志面接委員の養成につとめることであり、天台宗教義の近代化と実践、教誨経験の交流及び調査、会員相互の連絡、官庁並びに天台宗務庁その他関連機関との連絡協調などを課題として、年に一度、総会・研修会を開催しております。

また、宗内における教師並びに寺族の教誨活動への理解を深めるため会報「天台宗教誨師会々報」を年に一度発行しており、本年度は三月に発行します。

○平成三〇年度事業について

平成三〇年度総会・研修会は、五月二二日(火)～二三日(水)、千葉県成田市の成田ビューホテル並びに千葉刑務所を会場に開催いたしました。一日目は、千葉刑務所の視察を実施。千葉



千葉刑務所にて説明を受ける会員

刑務所の担当者から、施設の概要と課題について説明を受け、作業施設、教誨施設などを見学しました。夕刻には懇親会を開催し、会員相互の情報交換を行うと共に親睦を深めました。

二日目は成田ビューホテルにて総会を開催。今年度の事業計画、予算案の審議のほか、平成三十一年に天台宗教誨師会創立五〇周年を迎えるにあたっての記念事業について、進捗状況など話合われました。総会後には教誨事例発表として、日頃の活動や、教誨の実践方法などが発表されました。また新任教誨師との意見交換会を行い、活発な意見交換を行いました。

天台宗教誨師会では、教誨師の寺族の研修参加を認めており、本年も住職婦人が数名参加しました。今後も会員相互の情報交換や教誨活動に役立つ研修会を開催していきたいと考えております。

○天台宗教誨師会 役員紹介

- 会長 長 宗 順 (前橋刑務所・榛名女子学園)
- 副会長 植 竹 徳 道 (千葉刑務所)
- 副会長 吉 田 実 盛 (加古川刑務所)
- 理事 野 中 玄 雄 (宮崎刑務所)
- 理事 桑 谷 祐 顕 (姫路少年刑務所)
- 監 査 張 堂 完 俊 (府中刑務所)
- 監 査 小 寺 照 依 (滋賀刑務所)



活発な意見交換会が行われた

全キリスト教

連絡先 全キリスト教教誨師連絡協議会
☎ 〇七九―二三九―三九二―

全キリスト教教誨師連絡協議会は、日本基督教団教誨師（九四名）、カトリック教誨師（六一名）を中心に四一の教派と単立の教会に属する教誨師二五二名（二〇一八年一〇月二九日現在、全キ資料による）によって構成され、二〇〇二年熊本において開催されました第二九回全国教誨師大会の折に発足し現在に至ります。会の目的は、全国のキリスト教教誨師の交流をはかり、その教誨活動を支援することにあります。二〇一六年度より始まった各管区協議会への助成を通して地区の教誨師研修等が行われるようになりました。

今年度は一〇月一五日に全キリスト教教誨師連絡協議会の資料・報告書二〇一八年版（三号目）が作成され、すべての会員に送付しました。その内容は新任教誨師への勧め、当会の沿革、規約、役員・地区連絡委員名簿、二〇一六年度～二〇一七年度の事業報告と決算報告、二〇一八年度～二〇一九年度の事業計画と予算案、小寺隆教誨師（東京拘置所教誨師）の体験発表、八地区の活動報告、会員名簿等です。

この資料・報告書を持ち寄り、今年度の総会を一〇月三十一日、広島での全国教誨師大会・懇親会後に行われ次の事項が承認、報告されました。

- 1 二〇一六年度及び二〇一七年度の事業報告と決算報告
- 2 二〇一八年度～二〇一九年度の事業計画と予算
- 3 二〇二〇年度の研修会開催の件
- 4 役員の内

会長 萩 喜代治 先生
副会長 深山 祐 先生
副会長 時久 忠夫 先生（会計兼任）
書記 大庭 力 先生

- 5 各地区報告（特に語られた件を記しました）

①札幌管区（山形浩之先生） 地区内の三つの施設にキリスト教教誨師がいない。女性の教誨師を増やしたい。
②仙台管区（川上直哉先生） 二〇二二年度に仙台において全国大会が行われる予定。管区の研修会を行う福島を応援したい。

③東京管区（小野園三先生） 欠席
④名古屋管区（内村保先生） 前任者と代わったばかりで地区の報告はない。

⑤大阪管区（岸本光子先生） 毎年、教誨師と篤志面接委員と一緒に研修会を行っている。研修会には教誨師委嘱を希望する方々も参加し研修の時を持っている。

⑥広島管区（月下美孝先生） まだ全体の研修会が出来ていないことが課題である。

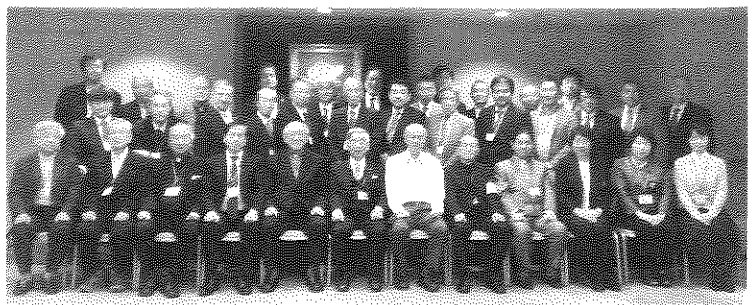
⑦高松管区（福田哲先生） 四国四県には一七名の教誨師がいるが集まること出来ず今後の課題である。

⑧福岡管区（松崎義治先生） 毎年各県持ち回りで、九州キリスト教研修会を行なっている。今回は宮崎県で行われた。

6 その他

- ①二〇一九年度の役員会を七月八日（月）～九日（火）に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。
- ②二〇二〇年度の総会は一〇月二八日（水）第三八回全国教誨師大会（鹿児島市）時に開催。会場は未定。

（文責・時久忠夫）



2018年10月31日全キ総会出席者

全真言宗教誨師連盟

連絡先 全真言宗教誨師連盟事務局
☎ 〇七三六―五六―二〇一四

○役員紹介（平成二九・三〇年度）

会長	米田 弘明	高野山真言宗
副会長	小池 弘三	真言宗須磨寺派
同	麻生 章雄	真言宗醍醐派
幹事長	岩崎 榮勝	真言宗豊山派
事務局長	阿部 眞猛	高野山真言宗
会計	赤星 善生	高野山真言宗
監事	吉田 正裕	真言宗御室派
同	井上 宥恵	東寺真言宗

○活動内容

現在一五七名の会員にて各矯正管区施設に於いて、教誨活動を行っています。

役員任期は二年で、各山より選出の理事三〇名にて、理事会を構成しています。

年二回の理事会と年一回の総会・研修会を開催し、本会の更なる充実の為、事業・会計等の審議、会員の実務の練達、適格者の推薦・要請等に努力しております。

近年は事務局担当宗派を真言宗智山派、真言宗豊山派、高野山真言宗の三派で、役員改選と共に交替しており、今年度は高野山真言宗が担当しています。

また、平成九年より、機関誌『遍照』を年刊で刊行しています。

○第五八回 全真言宗教誨師連盟大会報告

当連盟では、会員相互の実務研修の為、真言宗各派総大本山などの寺院を会場として、年一回の大会を開催しています。

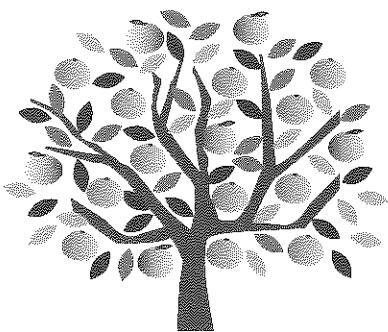
昭和三五年の結成以来、第五八回大会となる本大会では、会場を高野山真言宗 準別格本山谷口山 金峰寺（北海道旭川市）に於いて、平成三〇年六月二二日、二三日の二日間に亘り開催いたしました。

大会テーマを『生かせいのち―宗教教誨の原点を観る―』とし、二二日には総会の開催。金峰寺本堂に於いて記念法会の厳修。

続いては講師に長編小説『監獄ベースボール 知られざる北の野球史』著者 成田智志先生をお招きし、『監獄黎明期の教誨師たち―明治北海道での事蹟をたどりながら―』という演題の記念講演を行いました。

翌二三日には、研修として旭川刑務所の施設参観を行いました。

翌年、第五九回大会を総本山 長谷寺（奈良県桜井市）に於いて六月一七日、一八日に開催する予定です。



全国臨黄教誨師会

連絡先 全国臨黄教誨師会

☎ 〇七五—四六三—三二二—

全国臨黄教誨師会は、全国臨濟宗各派黄檗宗の教誨師をもって組織されております。

臨濟宗妙心寺派	二七名
臨濟宗南禅寺派	二名
臨濟宗大徳寺派	一名
臨濟宗円覚寺派	一名
臨濟宗天龍寺派	一名
臨濟宗東福寺派	一名
黄檗宗	二名

の三五名が全国臨黄教誨師会に在籍しております。

以前、昭和四四年に当会は発足しており機関紙「禅教誨」を発刊したと記録にはあります。平成一年五月に活動を再開し、「禅教誨」も翌年に再版が発行されました。しかし、教団として各派に跨がり事務など取り纏めることが困難で続けていくことが出来ず、度々休会になっておりました。

全国教誨師連盟が公益法人として活動するにあたり、臨濟宗で多数の教誨師が在籍している妙心寺派が事務所となり、平成二九年二月に妙心寺派宗務本所を会所に今後の組織としての方針や活動について協議されました。

(目的)

矯正施設における宗教教誨の充実徹底を図り関係諸機関との連絡を密にするとともに、臨黄教誨師会会員相互の研鑽と親睦を図ることを

目的とする。

各矯正管区教誨師研修会や全国教誨師大会に参加するとともに、隔年にて全国臨黄教誨師会研修会を開催することが決議され、役員が選任されました。

役員紹介

会 長	新野 建臣	妙心寺派 (秋田刑務所)
副会長	金嶽 宗信	大徳寺派 (東京拘置所)
副会長	村上 明道	妙心寺派 (岡山刑務所)
事務局長	大野 浩宗	妙心寺派 (名古屋刑務所)
監 事	田尻 和光	妙心寺派 (笠松刑務所)

あとがき

◆今年一年を振り返ってみると、まず六月から九月にかけて全国で相次いで大規模災害が起りました。六月には群馬県南部地震、大阪府北部地震、七月は甚大な被害を発生した西日本豪雨と、台風一二号による被害、八月は台風一三号、九月には台風二二号、北海道全域が停電した北海道胆振東部地震などがあり、多くの方が被災されました。被災されました皆さまに謹んでお悔やみ、お見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

◆一年間、大変お世話になりました。教誨師の皆様方におかれましてはご健康に留意され、今後益々のご活躍をお祈りいたしております。来る新年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(事務局 佐藤)